

公益社団法人 私立大学情報教育協会

# 平成 30 年度 教育改革 ICT 戦略大会

## 開催要項

日時 平成30年9月4日(火)・5日(水)・6日(木)

会場 アルカディア市ヶ谷(東京、私学会館)

東京都千代田区九段北 4-2-25 TEL:03-3261-9921 <http://www.arcadia-jp.org/access.htm>

JR 中央線(総武線)、地下鉄南北線、有楽町線、都営新宿線 「市ヶ谷駅」下車 徒歩2分

主催 公益社団法人私立大学情報教育協会

後援 文部科学省(予定)

## テーマ 社会の変化を展望した人材育成と ICT 活用の強化拡大

### 開催趣旨

文部科学省は、平成30年3月に「第3期教育振興基本計画について(答申)」をとりまとめ、平成30年度から5年間の教育政策の基本方針と目指すべき主な取り組みを公表した。それによると2030年以降は第4次産業革命ともいわれるIoT(Internet of Things)、ビッグデータ、人工知能(AI)等の技術革新が進展し、あらゆる分野で産業構造が変化して人々の働き方、ライフスタイルが大きく変わる超スマート社会(Society 5.0)の到来を想定するなか、国民一人一人が生涯に亘り質の高い学びを通じて、新たな価値を創造する能力の育成が一層重要になるとしています。

答申で示された今後5年間の教育政策目標の中で、高等教育段階においては、問題発見・解決能力の修得を掲げ、「学生に幅広い知識と教養、主体的に変化に対応しつつ学んだ知識・技能を実践・応用する力、さらには自ら問題の発見・解決に取り組む力を育成する。」として、多様な他者と協働しながら、新たなモノやサービスの創出を通じて社会の価値創造に関与できる人材育成に向けて、課題解決型学習(PBL)による教育などの改善を提言しています。

また、本年6月には「Society 5.0に向けた人材育成に係わる大臣懇談会」及び文部科学省内のタスクフォース会議において、「Society 5.0に向けた人材育成～社会が変わる、学びが変わる～」報告書を公表し、新たな時代における日本の課題を描いた上で、新時代に求められる人材像、子どもの成長段階に応じた学びの在り方の変革、取り組むべき政策の方向性を報告しています。

そこで本大会では、12年後に到来する超スマート社会を展望する中で、これからの人材育成について認識の共有を通じて、問題発見・解決力、価値創造力、情報活用力の向上を目指した学びの変革、授業でのICT活用の効果と普及推進に向けた課題などについて探求することとしています。

### プログラムの枠組み

9月4日(火) **全体会**

9月5日(水) **テーマ別意見交流、大学・企業連携によるICT導入・活用事例の紹介、情報交流会**

9月6日(木) **教育改善のためのICT活用の発表(発表者リストはWebに掲載)**

9:50	<b>開会挨拶</b> 公益社団法人 私立大学情報教育協会会長 向殿 政男 氏
10:00	<b>【高等教育政策の動向】</b> <b>今後の高等教育における人材育成と教育研究体制の論点</b> 中央教育審議会大学分科会将来構想部会において検討されている社会全体の構造の変化を踏まえた高等教育における人材育成と教育研究体制について課題を整理し、認識を共有します。 金子 元久 氏 (筑波大学研究センター特命教授)
11:00	<b>【第4次産業革命時代の人材育成】</b> <b>超スマート社会に求められる人材～産学連携による教育イノベーション</b> IoTやビッグデータ、AI、ロボットなどの最新技術を駆使し、サイバー空間と物理的空間とが調和した「超スマート社会」の到来を見据えた人材育成の視点と、産学連携による教育イノベーションについて提案いただきます。 野村 典文 氏 (伊藤忠テクノソリューションズ(株) 技監、広域・社会インフラ事業グループビジネス開発事業部長)
12:00	休 憩
13:00	<b>【データサイエンスの人材育成】</b> <b>データサイエンス力を育成する大学教育の取り組み</b> 21世紀の石油とも言われる「データ」を資源として活用できる人材育成に、文理融合で産業界と連携して取り組んでいるデータサイエンス教育の目標、現場のデータを利用した価値創造 PBL 演習などの教育内容、教育・研究体制、企業・自治体等と連携した先進的な取り組みなどを紹介いただきます。 竹村 彰通 氏 (滋賀大学データサイエンス学部長、データサイエンス教育研究センター長)
14:00	<b>【問題発見・解決力、創造力等を促進する ICT 活用授業の提案】</b> <b>テーマ1 「分野横断法政策フォーラム型授業の試み」</b> 中村 壽宏 氏 (本協会法学分野 FD/ICT 活用研究委員会委員)
14:35	<b>テーマ2 「構想力・問題解決力を目指す分野横断型PBL授業の提案」</b> 大原 茂之 氏 (本協会情報教育委員会情報専門教育分科会主査)
15:10	休 憩
15:25	<b>テーマ3 「批判的思考力を目指した多職種フォーラム型PBL授業の実験」(ビデオ紹介)</b> 片岡 竜太 氏 (本協会医療系 FD/ICT 活用研究委員会フォーラム型実験小委員会主査)
15:35	<b>シンポジウム「分野横断型PBLの実現に向けた教育イノベーションを考える」</b> 答えが定まらない社会課題をテーマに、多面的に知識を組み合わせ、知識の統合及び創造を訓練する分野を超えたネット授業の構築について認識の共有を図ります。
16:00	<b>【教育の情報化推進に関する著作権】</b> <b>大学教育における著作権問題—その理論と現実および著作権法改正の動向—</b> ネットを通じて問題発見・解決力、創造力などの授業展開が日常的になると、自前だけの教材・コンテンツだけでは授業内容を豊富化・充実できないことから、第三者の著作物をネット上で利活用することが避けて通れなくなるので、第三者の著作物の権利を保護する著作権の対応について認識の共有を図ります。 中村 壽宏 氏 (神奈川大学大学院法務研究科教授)
17:00	終 了

9月5日(水): テーマ別意見交流

	会場: 5階 大雪	会場: 5階 穂高
10:00 ~ 12:30	<p><b>【分科会: A】</b>  <b>Moodle、Google による e ラーニング・ICT 活用授業の効果と今後の展開</b></p> <p>e ラーニングや ICT 活用授業の充実が期待されていますが、大学授業での利活用は3割程度に留まっています。事前・事後学修、対面授業、教室外授業での協働学修などにおいて、無料のオープンソースやウェブサービスの利活用の可能性・留意点、大学授業での ICT 活用の普及・拡大に向けて認識の共有を図ります。</p> <p>※「Google Classroom を活用した授業実践の効果と展開」          リース エイドリアン氏 (宮城教育大学 教育学部准教授)</p> <p>※「Google ドライブによる授業実践の効果と展開」          安田 俊一氏 (松山大学経済学部教授)</p> <p>※「Moodle を利用した e ラーニング活用の効果と展開」          吉村 直道氏 (愛媛大学教育学部教授)</p>	<p><b>【分科会: B】</b>  <b>反転授業の導入と効果及び展開</b></p> <p>知識の獲得・定着に高い効果が得られる反転授業の普及に向けて、コンテンツ作成や教室授業でのアクティブ・ラーニングの工夫など改善すべき点、知識の活用につなげるための課題、今後の展開について認識の共有を図ります。</p> <p>※「英語教育における反転授業の導入と効果及び展開」          小張 敬之氏 (青山学院大学経済学部教授)</p> <p>※「会計初等教育における反転授業の導入と効果及び展開」          木本 圭一氏 (関西学院大学国際学部教授)</p> <p>※「数理基礎科目における反転授業の導入と効果及び展開」          西 誠氏 (金沢工業大学基礎教育部教授)</p>
12:30 ~ 12:55	<p><b>大学・企業連携による ICT 導入・活用事例 (ポスターセッション) の概要紹介</b>          アクティブ・ラーニング、LMSシステム、ラーニングコモンズ、ポートフォリオシステム、IRシステム、          教学マネジメントシステムなど</p>	
12:55	休憩	
14:00 ~ 16:30	<p><b>【分科会: C】</b>  <b>モバイル・SNS を活用した双方向型授業の導入と展望</b></p> <p>学生が主体的に授業で学ぶ仕組みとして、多様なモバイル・SNSなどを組み合わせた教員と学生による理解度の確認、学生同士による教え合い、学び合いを支援する授業運営及び授業環境作りについて、認識の共有を図ります。</p> <p>※「Twitter を活用した双方向授業の取り組みと展望」          尾澤 重知氏 (早稲田大学人間科学学術院准教授)</p> <p>※「大人数講義にスマートフォンを活用した双方向性授業実践の展望と課題」          久保田 裕美氏 (日本大学生物資源科学部講師)</p> <p>※「タブレット PC を活用した双方向授業の効果と展望」          渡来 靖氏 (立正大学地球環境科学部准教授)</p>	<p><b>【分科会: D】</b>  <b>問題発見・解決思考の情報リテラシー教育モデルの理解と実現に向けた対応策の考察</b></p> <p>初年次教育における情報リテラシー教育 (「問題発見・解決思考」、「情報社会で主体的に行動する知識・態度」、「モデル化・シミュレーションによる分析・予測する知識・態度」) の実現に必要な 3 コマ授業のシナリオと学生向け反転授業の教材、15 コマの地域連携型演習教材、データ処理技術教材の紹介、専門教育と連携した授業実践例の紹介を行います。</p> <p>その上で、学修成果の質保証の方法、カリキュラムポリシーにおける新しい情報リテラシー教育の位置付け、教員連携による組織的な授業運営体制、大学執行部への理解促進策、本モデルの全国的な意見交流組織の在り方等について提案し、実現に向けた対策を探求します。</p> <p>本協会情報教育研究委員会          情報リテラシー・情報倫理分科会          (リテラシー教材作成小委員会含む)          分野別情報教育分科会による合同で対応</p>
16:45 ~ 18:00	<p><b>情報交流会</b> ※参加費 別途 4,000 円が必要です。 <span style="float: right;">会場: 4F 鳳凰</span></p>	
12:30 ~ 17:00	<p><b>大学・企業連携による ICT 導入・活用事例 (ポスターセッション)</b>          アクティブ・ラーニング、LMSシステム、ラーニングコモンズ、ポートフォリオシステム、          IRシステム、教学マネジメントシステムなど <span style="float: right;">会場: 5F 廊下</span></p>	

**9月6日(木): 教育改善等の ICT 活用の発表**

発表者リストは8月1日に Web に掲載します。

**申込方法** **Web からの申込み**

下記 Web の「参加申込み」ボタンを押し、画面表示に従って入力、送信下さい。

**http://www.juce.jp/LINK/taikai/taikai2018.htm****FAX での申込み**別紙の申込用紙に記入の上、送付下さい。 **FAX: 03-3261-5473**

※ 申込内容で当協会が取得する個人情報、次の目的により利用します。「大学名、氏名、所属(学部、部署)」は、当日配布する資料(冊子)に参加者名簿として掲載し、「電子メールアドレス」は、今後の事業案内の連絡先情報として利用します。

**申込締切** **8月29日(水)**

※締切日以降の申込や当日申込も受け付けます。

※締切日までに申込まれた方の大学名、氏名を当日配布の資料の参加者名簿に掲載します。

**参加費振込** できるだけ8月29日(水)までに振込み下さい。**一括申込みの場合**

振込依頼人名には、大学名(社名)の他にできるだけキャンパス名または部署名を入れて下さい。

**個人申込みの場合**

振込依頼人名には、大学名と氏名の両方をできるだけ入れて下さい。

ｼﾞｮｳｷｮｳ (ﾀｲｲﾝｶﾋ)

**振込先**

りそな銀行 市ヶ谷支店 普通0434635 私情協(大会参加費)

〒102-0073 千代田区九段北4-1-14 九段北 TL ビル 4F TEL:03-3261-2798

\*振込手数料は申込者各自で負担願います。

\*銀行のATM機で振込みますと、本協会の口座名義人が上記略称ではなく、本協会の正式名称「公益社団法人私立大学情報教育協会・・・」で表示されますのでご了承下さい。

\*9月1日(土)までのキャンセルは、参加費から振込手数料を差し引いた金額を返金します。

それ以降のキャンセルについては、資料代(送料含む)、振込手数料、その他実費(情報交流会申込みの場合)を請求させていただき、後日資料を郵送いたしますので、ご了承下さい。

\*キャンセルの連絡は、下記のFAX、メールのいずれかにてお願いします。

**参加費** **3日間参加で割引に!** **加盟校 27,000円→21,000円 非加盟校 54,000円→42,000円**

※9月5日「情報交流会」は別途、下記の参加費が必要です。

※9月6日の発表者は、大会期間中の全プログラムに参加可能(申込不要)ですが、9月5日情報交流会は、一般申込み・参加費が必要です。発表者や共同研究者等の参加費についての詳細は下記サイトをご覧ください。

**http://www.juce.jp/LINK/taikai/18happyo/sankahi.htm**

※参加費はすべて税込金額	9月4日(火)	9月5日(水)	9月5日(水) 情報交流会	9月6日(木)
加盟大学・短期大学、賛助会員	9,000円	9,000円	4,000円	9,000円
非加盟大学・短期大学	18,000円	18,000円	4,000円	18,000円

本協会加盟校は右サイトで確認下さい **http://www.juce.jp/LINK/kaiin/univ2.htm****参加者には、加盟校に限定して当日の発表スライド(許可が得られたもの)を後日閲覧できるようにします。****問い合わせ・送付先** **公益社団法人私立大学情報教育協会事務局**

〒102-0073 千代田区九段北4-1-14 九段北 TL ビル 4F

TEL:03-3261-2798 FAX:03-3261-5473 E-mail:info@juce.jp (問い合わせ用)

**http://www.juce.jp/LINK/taikai/taikai2018.htm**